**ご執筆にあたってのお願い**

（1）原稿について

・ 原稿は発表概要集原稿フォーマット.docx（Word）をご利用ください。

原稿の書き方は「執筆要項」をご参照ください。

・ 指定された原稿締切日・原稿枚数を厳守してください。原稿締切日に間に合わない場合、 また、 原稿枚数が超過する場合は、 必ず学会誌担当者（妹尾）の了承を得て、その旨ご連絡下さい。また、締切日に間に合わなかった場合は、掲載を見送らせていただくことがあります。

（2）入稿方法について

・　原稿は、すべてデジタルデータでの入稿とさせていただきます。

・　郵送の場合は、執筆データ（CD-Rなど）とプリントアウトしたものを送付してください。

・　メールでの入稿の場合は、執筆データとPDFデータ（プリントアウト見本）を添付してください。

・　原稿に掲載した写真は、すべて元データを別途添付してください。

・　顔が写った写真を使用される場合は肖像権の都合上、対象の方に許諾を取っていただく必要があります。同様に作品の画像を使用される場合も許諾をお願いします。

（3）校正について

・　著者校正は1回とさせていただきます。原稿の訂正、 差し替えなどが生じないよう充分推敲してください。

**日本実践美術教育学会誌　執筆要項**

(1) レイアウト、書体について

・　ソフトは原則としてwordを使用してください。レイアウトに関しては別紙「発表概要集原稿フォーマット.docx（Word）」のレイアウトを参照の上ご執筆ください。

（発表概要集原稿フォーマット.docx（Word）は、 学会に登録されたメール宛に出した執筆依頼にも添付しております。

もし、メールが届いていない場合は、妹尾まで、メールしていただくと、折り返しメールに添付してデータを送付させていただきます。）

・ 読点は（、）、句点は（。）とします。

・ 英数文字は、頭文字や固有名詞、 略称（例：ＮＨＫ）などを除いて、 原則として半角にしてください。

フォント：文字化けなどを防ぐため、 次のフォントをご使用ください。

日本語フォント： Windowsの場合 ：MS明朝またはMS ゴシック

　　　　　　　　Macintoshの場合　　：MS明朝またはMS ゴシック（OSX以降）

英字フォント ： Times、 Times New Roman、 Helvetica、 Arial、 Symbol

(2) 項立て、見出しについて

・　次のように、「半角英数字」と見出し語のみとします。「半角英数字」の後は、 全角スペースをとり、（．）ドットは付けないでください。

大項目 1　2　3　4　…

中項目 1-1　1-2　1-3　1-4　…

小項目 (1)　 (2)　 (3)　 (4)　 …

細項目 a　b　c　d　…

・　大項目は、見出しの入る行（１行又は複数行）の前後各1 行を空けてください。

・　中項目は、前1行を空ける。小項目以下は行を空けてください。

(３) 図、写真、表について

・　図、写真、表はレイアウトに合わせてバランス良く配置してください。

・　表では、 その上に「表1」「表2」（出現順）などを記し、 タイトルなどを続けて記入してください。

・　図及び写真には、 その下に順に「図1」「図2」、 又は「写真1」「写真2」（出現順）などを記し、 タイトルなどを続けて記入してください。

・　原則として図・表・写真の左右には本文を割り付けないでください。

・　印刷は１色（モノクロ）印刷になります。写真など、 明確に出せない場合がありますので、 モノクロプリンタで出力を確認してください。また、 印刷に際し、 資料番号・ページ番号を組み込みますので、 セキュリティはかけないでください。

(４) 引用及び註について

・　直接引用文は、 原則として「 」内に入れ、3行以上にわたる長文の場合は、 行を改め2字分下げてください。

・　直接引用で、旧漢字、旧仮名遣いを用いた場合は末尾に（原文ママ）と表してください。それらを常用漢字や現代仮名遣いに改めた場合は、 原則として末尾に（常用漢字、 現代仮名遣いに改める）と表記してください。

・　原文の誤字や当て字などをそのまま引用する場合は、 該当する文字の上に「ママ」と表記してください。

・　注及び引用文献は論文の末尾に[註]としてまとめてください。註番号は、該当する文節の末尾上（右肩）に、通し番号1、 2、 3 ･･･（出現順）で示してください。

・　引用文献は、著者（翻訳者）、発行年、「論文名」、『書名・雑誌名』、雑誌の巻／号、出版者（発行所）、頁の順に（,）で区切って示し、外国文献も同様とします。

　 例：岡山太郎,1991,「子どもの生活」,『現代保育講座』,東西出版社, p.176

・ 同じ文献で通し番号が続いている場合は、先の項目の重複部分を省略してください。

・ 通し番号は続いていないが、既に掲げた同じ文献を引用する場合は、著者名（姓のみ）、前掲書、頁を示してください。

例：木下, 前掲書, pp.160-165

・ 原則として、 本文中に直接引用しない文献は挙げないものとします。

（5）著作権について

・ 日本実践美術教育学会誌に掲載される論文などの著作権（複製、翻訳、翻案、電子的形体での利用などのすべてを含む包括的な著作権）は、原則として本会に帰属するものとします。

＜問い合わせ先＞

日本実践美術教育学会　学会誌編集担当　妹尾　佑介

　　　　　　　　　　　（岡山県立玉島高等学校　教諭）

E-mail: seno.yusuke.1988@gmail.com